



2019年6月11日

各 位

会 社 名 株式会社三井ハイテック
 代表者名 代表取締役社長 三井 康誠
 (コード番号 6966 東証第1部・福証)
 問合せ先 取締役管理本部長 三井 宏蔵
 (TEL 093-614-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年3月14日に公表した2020年1月期第2四半期(累計)及び2020年1月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年1月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年2月1日～2019年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,000	100	200	100	2.66
今回修正予想(B)	41,000	△300	△200	△400	△10.73
増減額(B-A)	0	△400	△400	△500	
増減率(%)	0.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年1月期第2四半期)	41,426	691	978	808	21.22

2. 2020年1月期通期連結業績予想数値の修正(2019年2月1日～2020年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	86,000	700	900	500	13.28
今回修正予想(B)	86,000	300	500	100	2.68
増減額(B-A)	0	△400	△400	△400	
増減率(%)	0.0	△57.1	△44.4	△80.0	
(ご参考)前期実績 (2019年1月期)	81,985	499	817	302	7.98

3. 業績予想修正の理由

(1) 第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正

電子部品事業においてスマートフォン等の携帯用端末、民生及び車載向けリードフレームの需要が低迷しており、リードフレームの販売が減少する一方、車載及び産業・家電用モーターコア他の需要が旺盛であるため、金型事業、電機部品事業及び工作機械事業は、好調に推移する見込みです。結果として、電子部品事業の売上高減を補い、全体では前回予想の売上高を確保できる見通しです。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益については、電子部品事業において、大幅な売上高減により固定費をカバーできず赤字となり、それをその他の好調な事業で補うことができず、前回予想を下回る見通しです。

(2) 通期連結業績予想数値の修正

需要が低迷している電子部品事業については、第3四半期以降は市況が徐々に回復する見込みですが、予想した数値には到達できない見込みです。その他の事業については、上期並みに推移していくため、売上高については前回予想通りとなる見込みです。

継続した原価低減、生産性向上に取り組み、営業体制の強化推進などによりリードフレーム市場でのシェア拡大を図ってまいります。

しかしながら、利益については上期の落ち込みを補うことができず、通期でも前回予想を下回り、営業利益は3億円、経常利益は5億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1億円となる見込みです。

なお、第2四半期以降の想定為替相場は前回予想110円/米ドルを据え置いております。

(注) 本資料に記載されている業績予想数値等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上